

植物性
乳酸菌
Th221

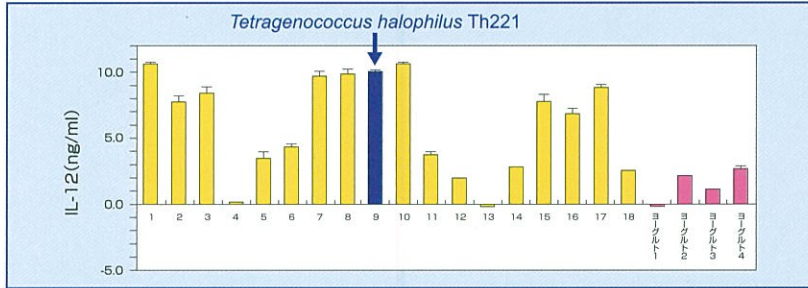
しょうゆ乳酸菌

商品名

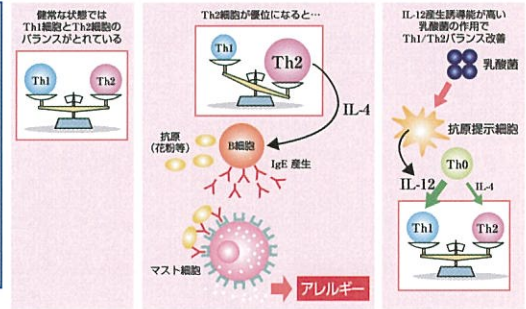
ソイラクティック®

乳酸菌(殺菌)含有

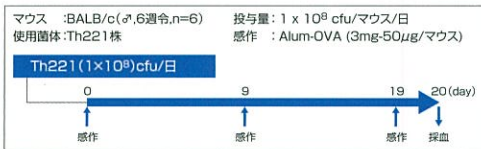
しょうゆの醸造において重要な役割を担っている乳酸菌の中から、
免疫調節作用の高い菌株の発見に成功⁽¹⁾



しょうゆもろみから分離した乳酸菌約240株について、IL-12産生誘導能を評価し、高い活性を示す菌株として *Tetragenococcus halophilus* Th221 を選抜した。



抗原特異的IgE産生の抑制効果を動物実験で確認⁽¹⁾

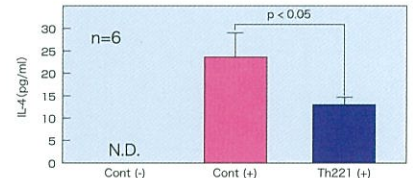
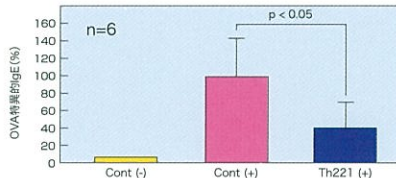


【方法】

卵白アルブミン(OVA)感作マウスにTh221菌体を経口投与し、OVA特異的IgE量を測定した。

【結果】

Th221株体を経口投与したマウスでは、OVA特異的IgEの上昇が有意に抑制された。解剖時の脾臓細胞のIL-4産生能はTh221摂取群で有意に低下していた。



【まとめ】

Th221株の摂取によってTh1/Th2バランス改善が起こり、OVA特異的IgEの上昇が抑えられたと推測される。⇒Th221株摂取により、アレルギー症状が改善できる可能性がある。

(1) International Journal of Food Microbiology 121 (2008) 245-252

通年性アレルギー性鼻炎の症状を持った人を対象にした アレルギー症状改善効果を臨床試験で確認⁽²⁾

【対象】

通年性アレルギー性鼻炎患者(中等症以上)45例
 プラセボ群 15例
 低用量群:Th221株 20mg/日 15例
 高用量群:Th221株 60mg/日 15例

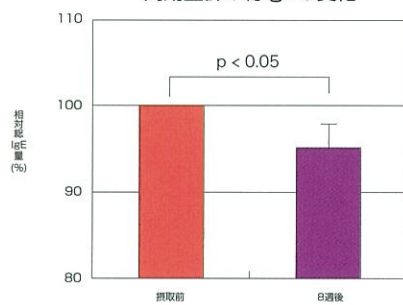
【方法】

- 1) 試験法 : 二重盲検並行群間比較試験
- 2) 摂取量 : 1日3回(2錠/回)を8週間
- 3) 実施期間 : 2005年10月~2005年12月(スギ花粉飛散期外)
- 4) 効果の判定 : 医師の診断(重症度、鼻症状、採血、アレルギー日誌)

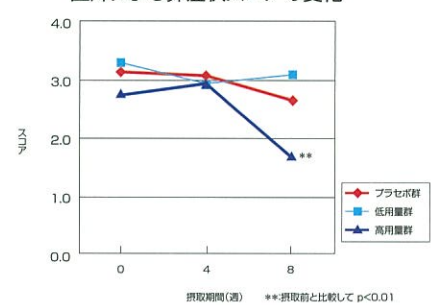
【結果】

1. 重症度判定で高用量群で有意な改善が認められた。
2. 鼻症状スコアで高用量群で有意な改善が認められた。
3. アレルギー日誌では、「くしゃみ」「鼻水」の項目で高用量群で有意な改善が見られた。
4. 高用量群では摂取前に比べて総IgEの有意な低下が観察された。
5. 血液検査、尿検査、自覚症状等で特に問題になる項目は無く、安全性において問題はなかった。

高用量群の総IgEの変化



医師による鼻症状スコアの変化



【まとめ】

Th221株は免疫調節作用を有し、通年性アレルギー性鼻炎に対する有効性、安全性があることが明らかになった。
このことから、Th221菌を摂取することにより、通年性アレルギー性鼻炎以外のアレルギー(花粉症など)の症状緩和も期待できる。

(2) 第18回日本アレルギー学会春季臨床大会抄録集55(3-4)484,2006

【お問い合わせ先】

キッコーマンバイオケミファ株式会社
〒105-0003 東京都港区西新橋2-1-1 TEL.03-5521-5497 FAX.03-5521-5498

